

2019
January

Vol. 24



BUDOU - Alumnae association bulletin - 2019

I AM THE VINE,
YOU ARE THE BRANCHES.
JOHN 15:5



福岡女学院同窓会会報

明けましておめでとーいっしょです。



新会長 挨拶



同窓会新会長
飛田 恵子
(S42年高卒)

皆様どの様な新年をお迎えでしょうか。2018年6月の大阪北部震災で被害に遭われた方々、又7月の西日本豪雨災害で被害を受けられた方々そして、9月の北海道の地震災害にあわれた方々に、心からのお見舞いを申し上げます。皆さま方の一日も早い復興と心の平安をお祈り申し上げます。今年こそ、争いの無い、災害の無い平和な年になりますように、お祈りをしながら過ごしたいと思っております。

私は、2018年5月の同窓会総会で会長に選出されて八ヶ月近くが経ちました。総会時に新任の挨拶でお約束しました同窓会の会則・会計・組織の見直しに手をつけて始めております。

100年にわたり同窓会の先輩達が築きあげられました素晴らしい伝統の上に、今後は短大・大学・看護大の同窓生の皆様にもご協力を頂き、より強固な新たな100年に向けた同窓会になって行きますように、頑張りたいと願っております。

今また葡萄の枝を広げていこうとしている母校 福岡女学院の、基の所に想いをしますと、百数十年前に異国の地から、キリスト教伝道と女子教育の為に派遣された若い女性宣教師がいらつしやうた事を覚えます。明治3年にキダー女性宣教師により、横浜にフェリス女学院が創立されたのが、日本の女子ミッションスクール第一号誕生となり、青山女学院、同志社女学校、活水女学校、そして明治18年に福岡英和女学校(当院前身)など、多くのミッションスクールが主に西日本に開校しました。

当時の女性宣教師の求人条件は、学位があり、音楽が出来話術や事務に長じ、健康でもとより伝道の精神に燃えていなければならぬものであったそうです。

しかし、後に多大な功績を広島女学院で残されたゲーンズ女史は「私はお示しのような条件のどれ一つも満たしえる者とは思いません。しかし私如き者をお用い下さいますなら、直ちに応ずる用意がございます」と応募して、採用され「往け日本へ、広島へ」との電報で明治20年にサンフランシスコを出港され来日されました。

当学院のギール女史も、幾多のご苦労の上今の因幡町に25人の生徒を集めて明治18年6月15日に開校されました。

この様に女性宣教師の信仰と決意と努力の基に、数多くの先人達のご尽力で今日がある、母校福岡女学院の、今後ますますの発展の為に皆様のお力添えをお願い致しますと共に、同窓会に対しまして、絶大なるご協力とご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、2018年9月3日に女学院の名誉院長 徳永徹先生が天に召されました。

同窓会にとりまして、同窓会総会はもとより、各支部総会にも毎年ご出席下さり、暖かいお言葉をかけて頂いております。心からご平安をお祈りいたします。そして、この『ぶどう』と共に、学院編集発行の徳永先生を偲ぶ特集、紙面をお届け致します。どうぞ徳永先生を偲んで頂けたら幸いです。

同窓会活動に感謝



前会長 挨拶



同窓会前会長
伊藤 和子
(S46年高卒)

新年のお慶びを申し上げます。2018年も、世界中で又、日本の各地でも台風災害や地震災害の為に、多くの方々被害にあわれ、未だに大変な思いをされておられる事と存じます。心よりお見舞いを申し上げます。

その中であって、健康を支えられた年の初めを迎えられました事、感謝でございます。

さて、私事2013年に同窓会役員として2年間書記をさせて頂き、2015年より4年間会長として務めさせて頂きました。これは偏に同窓会副会長を始め、役員の方々のお働きによるお支えと、学院の理事、長先生を始めとする皆様のお支え、そして何より同窓生の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝してもしきれぬものではございません。そして、活動の中で本部の総会を始め、10支部のそれぞれ励んで下さる各支部の支部総会に出席させて頂き、他にも創立記念日に開催されます卒業25年目の同窓会や高校の卒業式に開催致します卒業50年目の卒業式、学院行事では、それぞれのグレードであります中高・短大・大学・大学院・看護大そして幼稚園の入学式・卒業式・卒業式又、創立記念式典・クリスマス・礼拝・学院祭等々に出席させて頂きました。

同窓会は同窓生の横の繋がりが、縦の繋がりが、学院との繋がりが、それら全てを包括しております一本のぶどうの木に繋がる房の一粒として福岡女学院で学んだ建学精神を感じずにはいられません。

2018年は看護大学開学10周年。本当に嬉しい限りです。そんな中、私共誰もが知る名誉院長の徳永徹先生が9月に天国に旅立たれました。同窓会の事をいつも心配して下さい、総会・支部総会にはいつも笑顔で出席して下さいました。私だけでなく皆様のお心の中に生き続けられることでしょう。

最後に、たくさんの方々とお知り合いになり、親交を深めることが出来ました。この同窓会に関わったからこそ得られた先輩や後輩もおります。このご縁も大切にしながら、これからも応援したいと思っております。小さな大きな愛を持って生きて行く。その小さな親切は、神様にしている。そう学びました。くだからの条件付愛ではなく、くにも拘わらずの無条件の愛を深めて行きたいと思っております。

同窓会はこのからも更に何が出来るかを話し合いながら、母校の発展に寄与して行つて欲しいと願う一人でございます。今後の同窓会と母校の発展を、感謝と希望と喜びを持って心より願っております。

大学長 新任挨拶



福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
学長 阿久戸 光晴

明けましておめでとうございます。私は一昨年3月に従事しております東京のある学校法人理事長・院長の職務(その前年度には大学長職も)が任期満了となり、その後日本基督教団の一教会と東京都のある区における地方自治体でのご奉仕に従事していたところ、お声がかかり、私はこれを神からの召命と受け止め、昨年4月から本学院大学・短大の学長に就任いたしました。本学院の名前は東京にも鳴り響いており、この歴史ある素晴らしい女学院の名を汚さぬよう全力で努めてまいる所存です。ちなみに東京に介護を要する実母を抱えており、当初「辞退しようと思っておりましたところ、その母から「自分は関東の生まれ育ちなのでここで生き抜くが、お前を必要としてくださる学校があるなら行って、良い仕事をしときなさい」と言われ、妻らと話し合い、母を娘と区の福祉サービスに委ねて妻と子どもこの地へ参りました。以前の子ども讚美歌第64番の歌詞に「①イサクのおじさん、井戸を掘る。ここから水が出ないかと、一生懸命井戸を掘る。②イサクのおじさん、井戸を掘る。ようやく水が出てくると、ニコニコ譲つてよそへ行く。」とありますが、その心境です。イサクはアブラハムや

ヤコブと比べて地味な存在ですが、御旨のままに未知の土地へ行き、その地を開拓していくのちの水を湧きあがらせます。今では荒野のはずであった聖地は、イサクの井戸群のおかげで潤いある地になっています。私にとっても福岡は未知の土地ですが、主にあって開拓精神で尽瘁する所存です。

さてこれから私たちには、日本社会の少子高齢化・AI化に加え、ますます深刻化する国際関係や、いつ襲ってくるかもしれない自然災害への対処など厳しい現実の中で、福音の炎を守りながら、与えられた生徒・学生を育てつつ、大学のあるべき姿を明らかにしていく使命があります。また福岡女学院の素晴らしい伝統を守りつつ激変する社会への対応を迫られる、という実に困難な課題があります。私としては、①学生に真の信仰・倫理(モラルとモラール)・静かな気概(忍耐と勇気)を伝え、②コミュニケーション手段としての英語力・IT力を身に着けさせ、③女性の持つ協働的な「癒し力」を発揮できるよう、既に与えられている賜物を活かしながら、教職員とともに応え、同窓会の皆さんにも十分ご理解いただけるよう励んでまいる所存です。今後ともご苦言ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

CONTENTS

新同窓会会長挨拶.....	1	教養講座グレープ・ガーデン 報告・次回予告.....	13
前同窓会会長挨拶.....	1	ミッションサポートからのご案内.....	13
大学長新任挨拶.....	2	50年目の卒業式.....	14
2018年度同窓会総会報告.....	3	25年目の同窓会.....	14
寺園院長挨拶・当番学年より・総会案内.....	4	セーラー服展 報告.....	14
会計報告.....	5	Mission Family.....	15
支部だより・2018年度支部総会報告.....	7	逝去.....	17
活動報告・役員紹介・オリブの会.....	9	学院から.....	18
バザー報告・サポーター募集.....	10	イベント案内.....	19
看護大10周年記念.....	11	編集後記.....	19
音楽科卒業生会・募金・思い出の向山寮・お仕事会.....	12		



創立133周年

総会プログラム

2018年度 同窓会総会 報告



第一部 礼拝・総会



2018年5月17日(木)ソラリア西鉄ホテルにて80歳以上33名を含156名の参加を得て開催されました。

奨励は寺園喜基院長に「神の選び」というテーマでおはなしをいただきました。お話の中にあつた、フランチスコの平和の祈り、

「慰められるより慰める者に
愛されるよりも愛する者に
理解されるよりも理解する者に」は、私たちに
とつて心に響く感慨深いお話でした。

続いての総会は伊藤和子(S46高卒)前同窓会会長の挨拶に始まり議事に入りました。

2017年度、会計報告・収支決算報告及び監査報告があり、すべて問題なく承認されました。

今年度は任期を終えた15名が退任し、飛田恵子新会長を迎え新たに15名の布陣で新年度をスタートすることになりました。

第二部 懇親会



懇親会は阿久戸光晴大学学長の乾杯で始まり、ホテルの心尽くしのお料理を頂きながら、恩師の二田真知子先生・緒方由子先生・鶴英子先生・瓦田 勝先生を囲み、皆様それぞれ旧交を温め、和やかに楽しいひと時を過ごされました。

また、卒業生合唱団「葡萄」の合唱や当番学年(H3音卒)太田智子さん・白土達子さん・大庭晴美さんの素敵なトリオ演奏が披露されました。

そして、前年度の総会で、迷子になつていたバックも一年ぶりに持ち主のもとに戻る事ができ、会場全体が笑顔と歓声で一気に盛り上がり恒例の「ハレルヤ」大合唱で、2018年度同窓会総会も大盛況に終わりました。



当番学年
より



寺園院長挨拶

学校法人 福岡女学院
院長 寺園 喜基

「わたしがあなたがたを選んだ」(ヨハネ15:16) 神様は一人一人を選んで、今日の私たちとしてくださいました。現在から振り返って、神様の選びは言えることです。パウロは、母の胎内にある時から神に選ばれたと言っていますが(ガラテヤ1:15)、これは時間的な歴史の流れで言っているのではなく、現在ある恵みの生活から振り返って感謝している言葉です。そうでないと、彼が教会を迫害し、ステパノの迫害に加担したことは説明が付きません。彼がこの手紙を書いたのは後のことですから。

「自分は選ばれている」と感じている人がいるでしょうか。その人は幸せな人です。感謝しましょう。「ぜんぜん選ばれたなどとは感じられない」、「何も良いことはなかった」、「自分の人生は失敗だった」という人がいるかもしれません。しかしその人も気づかないだけで、隠された仕方で神様の選びがあるのではないのでしょうか。振り返って一つずつ数えて見ましょう。俳優の吉田羊さんが下積みのある不幸ばかり嘆いた時に、勧められて、小さいことでも感謝すべきことを見つけて「感謝帳」に書き留めてみたということです。

今の生き方の中でどんなに小さくても喜ぶべきこと、感謝すべきことを発見できたら、わたしたちは神様の選びの中にいるのではないのでしょうか。



当番学年：H3年高卒・H5年短卒・H7年大卒

創立133周年創立記念日の同窓会での当番学年。私がドミニカ共和国に滞在中、会報誌「ぶとう」に掲載していただいたご縁から幹事をお引き受けさせていただきました。

同窓会役員の方々をはじめ事務局スタッフの皆様のお力添えがあり、当初2名でした平成3年卒業生も当日は17名に至りました。彼方比方からかけてくれたメンバーの母校愛にも感謝致します。

2部懇親会では、《葡萄》の合唱団はじめ懐かしいハレルヤコーラス合唱にと感銘をうけその場に集える喜びに感動いたしました。

また企画ステージでは音楽科卒で同級生の大庭晴美さんピアノ伴奏、太田 智子さん、白土 道子さんのフルート演奏に会場全体がその世界観に惹き込まれました。おかげさまで、盛会の運びとなりました。私達は、創立100周年の節目に入学致しました。入学早々に覚えたハレルヤコーラスは九電記念体育館での記念式典も 懐かしく今でも覚えております。いつまでもお若くパワフルな二田先生 鶴先生 緒方先生そして昨年退任されました瓦田先生もお元氣なお姿に伝統ある女学院で学べたことに感謝致します。

これからも葡萄の枝の繋がりを大事に過ごして参りたい所存です。

益々の母校のご発展をお祈り致し心より御礼申し上げます。
H3年高卒 松尾 典子

創立134周年 2019年度

福岡女学院同窓会総会

日時：2019年5月19日(日) 10:30～15:30
日曜日のため特別礼拝から始まります。

場所：西鉄グランドホテル

会費：7,000円

80歳(S32年高卒)以上の方 5,000円・新卒の方 3,000円

当番学年：H4年高卒・H6年短卒・H8年大卒

詳しくは同封のチラシをご覧ください。
チラシ(裏面)の振込用紙にてお申し込みください。



※ご注意：あらかじめ同窓会本部から許可のないチラシ・印刷物の提示や配布はご遠慮ください。

会計報告

■ 資産の部

2017年3月31日 残 220,011,030 円
2018年3月31日 現在 231,514,001 円

■ 会費会計／収入の部

収入 入会金 2,385,000 円
会費 20,316,000 円
22,701,000 円

■ 会費会計／支出の部

支出 運営会計へ 14,271,295 円

2017年度運営会計決算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

	2017年度予算	2017年度決算	予 算 比	備 考
会費会計より	14,271,295	14,271,295	0	
受取利息	3,000	962	2,038	預金受取利息
総会会費	1,340,000	983,000	357,000	総会チケット代
グッズ売上	1,000,000	1,071,160	-71,160	グッズ収入
寄付金	30,000	674,932	-644,932	創立記念日バザー出店料他
収入合計	16,644,295	17,001,349	-357,054	
前期より繰越	2,757,705	2,757,705	0	
合計	19,402,000	19,759,054	-357,054	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2017年度予算	2017年度決算	予 算 比	備 考
総務部費	2,050,000	1,618,682	431,318	総会費用
会員部費	1,000,000	838,108	161,892	ホームカミング開催費、卒後50年招待費、卒後25年同窓会支援費、クリスマスカード代、同窓会入会記念品費他
活動推進部費	205,000	59,657	145,343	グッズ関連費、バザー開催費他
広報部費	3,820,000	3,642,259	177,741	会報「ぶどう」発行費、同窓会のしおり印刷代他
活動費	350,000	281,138	68,862	部会参加費・役員活動費他
支部関連費	2,105,000	2,125,372	-20,372	支部支援金、支部長会開催費、支部総会参加費、交通費他
支援金(学院・会員)	940,000	1,303,656	-363,656	支援金(学年同窓会・中高生徒会・音楽科卒業生会・大学校友会・看護大学校友会・卒業生合唱団「葡萄」・メサイア)他
事務関連費	4,700,000	2,895,331	1,804,669	給与事務局3名分(交通費、社会保険料含む)
コンピューター関連費	900,000	293,005	606,995	機器リース料、メンテナンス料、コピー料、会員管理システムカスタマイズ料他
通信費	230,000	121,919	108,081	電話代、郵便代
雑費	752,000	389,040	362,960	税理士報酬、振込手数料・グッズ製作費他
消耗品費	550,000	258,174	291,826	事務用品費、コーヒー代他
設備・営繕費	250,000	207,687	42,313	ピアノ調律、ガーデニング、備品購入他
慶弔費	50,000	12,616	37,384	弔電他
支援積立金	1,000,000	1,000,000	0	特別会計へ
寄付金	0	674,932	-674,932	特別会計へ
グッズ売上	0	291,125	-291,125	グッズ売上利益分(247,220特別会計 43,905支部還元)
予備費	500,000	182,035	317,965	臨時支部長会議旅費(10月14日開催)
合計	19,402,000	16,194,736	3,207,264	
次期繰越		3,564,318		
合計	19,402,000	19,759,054		

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

支援積立金より	1,000,000
寄付金より	674,932
グッズ売上利益	247,220
合計	1,922,152

2018年4月14日監査の結果、
相違のないことを認めます。(監査)

花田 尋美 
赤間 有美 

2018年度運営会計予算

■ 運営会計 / 収入の部

(単位：円)

決算費目	2017年度予算	2018年度予算	
会費会計より	14,271,295	12,633,682	
受取利息	3,000	1,000	預金利息
総会会費	1,340,000	1,000,000	総会チケット代
グッズ売上	1,000,000	300,000	グッズ売上金
寄付金	30,000	10,000	
前期より繰越金	2,757,705	3,564,318	
合計	19,402,000	17,509,000	

■ 運営会計 / 支出の部

(単位：円)

決算費目	2017年度予算	2018年度予算	備考
総務部費	2,050,000	2,024,000	総会費
会員部費	1,000,000	1,035,000	ホームカミング、卒後25・50年招待費、同窓会入会記念品費他
活動推進部費	205,000	190,000	バザー開催費、グレープガーデン他
広報部費	3,820,000	4,115,000	会報「ぶどう」発行、「同窓会しおり」作成他
役員活動費	350,000	2,350,000	役員活動費、会長・副会長活動費
支部関連費	2,105,000	1,635,000	支部支援金、支部総会参加費用、支部長会開催費他
支援金(学院・会員)	940,000	880,000	各グレード、メサイア・各部会支援金他
人件費	4,700,000	2,020,000	事務局給与、交通費他
コンピューター関連費	900,000	700,000	機器リース料、コピー・トナー費用、ホームページ関連費他
通信費	230,000	160,000	電話、郵便他
雑費	752,000	320,000	グッズ製作費、手数料、運賃他
消耗品費	550,000	300,000	事務用品代、コーヒー代他
設備・営繕費	250,000	230,000	中庭ガーデニング関連費、ピアノ調律費他
慶弔費	50,000	50,000	弔電他
支援積立金	1,000,000	1,000,000	
予備費	500,000	500,000	
合計	19,402,000	17,509,000	

財務部より

同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切にに使わせていただいております。ご理解とご協力を
 お願い申し上げます。

**同窓会の財政基盤である会費収入が、ここ数年、毎年減少してきています。
 未納の方は会費納入のご協力をお願いいたします。**

【同窓会会費納入にご協力を!!】

会費の振込は17ページの振込用紙をご利用ください。この振込用紙は同窓会会費専用の振込用紙ですので、他のお支払いにはくれぐれも利用されないようお願いいたします。同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合には完納されている方です。

郵便振込口座番号 01790-4-19034 福岡女学院同窓会

■ 満期までの口数(残)

2018年11月末現在

完納された方にはこの数字が入っていません。

(例)この場合は満期(額)に対して21口分(21,000円)残っています。
 ※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
 (TEL&FAX 092-575-2479)

宛名ラベルシール

〒811-1313
 福岡県福岡市南区日佐3-42-1

福岡 花子 様

21

29990013

■ 会員No.

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は代替文字で表記させていただきます。ご了承ください。

例：吉→吉 辻→辻

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所、氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからでもできます。

同窓会事務局 TEL&FAX092-575-2479 ホームページ <http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/> E-mail alumnae@fukujo.ac.jp

2019年度
関東支部総会のご案内

2019年10月26日(土)
明治記念会館にて11:00より開催

大分支部会員8名 支部外から4名 本部2名 学院より6名の先生方にご出席をいただき第14回目の支部総会を開催しました。自己紹介の時の「今までで長く続いたものは?」という題目に、先生方を初め、出席者の皆さんも考えて答えて下さり、楽しいひと時を過ごすことができました。

ほのぼのとした気持ちになって会を終える事が出来、心から感謝しています。

次回も10月末の予定です。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。



大分支部
(916名)
安浪 敬子(S41年高卒)

筑後南支部総会を10月30日に開催いたしました。田上永子(S19年女学校卒)さんの演奏で礼拝が始められ、アットホームな雰囲気の中での交流がなされ、とても楽しいひと時でした。田上さんの力強い演奏に一同驚きと感謝で一杯でした。私たちの大先輩で、信仰者としても心から尊敬致します。「次回もみんな元気で会いましょう」の言葉で閉会しました。

筑後南支部
(642名)
安藤 恭子
(S48年高卒・S50年短卒)



11月3日、ANAクラウンプラザホテルにて、十時忠秀理事長先生を初め、多くの学院、同窓会本部からのご出席を頂き17名で「秋の集い」を開催、乙女に戻り楽しいひと時を過ごしました。

毎年ご出席頂いていた徳永徹先生が天に召され、皆、寂しさの中でも先生の優しい笑顔を中心に共にご過ごせたと思います。

また、熊本地震では多くの励ましを学院、同窓会から頂き心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



熊本支部
(690名)
合志 知子(S51年音卒)

今回は在校生より、熊本支部・鹿児島支部の先輩方へ、折り紙で作った制服の中に、お手紙を書いて渡してくれました。可愛い後輩にはメッセージを書いた色紙が贈られました。



本年度は2年ぶりに佐世保にて十時理事長、高木課長、桑原副会長、角様、竹下様にご出席頂き、支部会員と合わせて14名で支部総会を開催でき、感謝いたします。

長崎で少年期を過ごされた徳永徹名誉院長を偲び、学院生の活躍に拍手し、自己紹介では、『ミッションブランド』のすばらしさ、仕事や生活で葡萄の枝のつながりを感じる等のお話があり、和やかで実りのある親睦の時間が持てました。次回も喜んで頂けるよう努力いたします。



長崎支部
(741名)
大岩しのぶ(S55年音卒)

今回は、初めて日曜日に開催し、午前中は会場近くの加治屋町教会の礼拝に参加させていただきました。

支部会員の参加は、少人数でしたが、23名での会となりました。S28年卒の小桜さんも久々に出席してくださり、とても楽しい会となりました。

徳永先生の追悼の意を込め、絵と折鶴も飾り、ピアノ演奏もしていただきました。

鹿児島支部会は、これからも、11月11日にいたしますので、皆様の出席をお待ちしています。



鹿児島支部
(443名)
新原 美栄子(S52年短卒)

2018年度 支部長会

2018年5月17日(木)ソラリア西鉄ホテルにて10支部支部長、新体制になった本部役員全員と事務局員で各支部の現状、今後の課題等について前向きに話し合うことができました。



どの支部会にも参加できますので、同窓会事務局にお尋ねください。

活動報告

- 1 同窓会総会
- 2 役員会
- 3 支部長会
- 4 支部総会
- 5 創立記念日のホームカミング
- 6 卒後50年の同窓生の卒業式招待
- 7 卒後25年の同窓会開催への支援
- 8 会計処理(予算、決算、監査)
- 9 会員情報データ管理
- 10 会報「ぶどう」発行
- 11 ホームページ管理
- 12 同窓会開催への支援
- 13 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- 14 教養講座「グレープ・ガーデン」開催
- 15 オリジナルグッズの企画、バザー開催
- 16 文化祭、講演会、学院行事への協力



役員紹介

会長 飛田 恵子 (S42年高卒)

副会長 桑原 洋子 (S44年高卒)

藤井 恵 (S45年高卒)

書記 藤木智恵子 (H3年高、H5年短卒)

総務部 稲原しのぶ (S54年高卒)

日下部千春 (S59年高卒)

監査 花田 尋美 (S61年短卒)



会員部 角 静香 (S46年高卒)

古賀真理子 (H5年高卒)

見城真由美 (S49年高、S51年短卒)

広報部 岩瀬 由美 (S56年高卒)

森 奈都美 (S58年高、S60年短卒)

財務部 前田三枝子 (S41年高卒)

月野木直子 (S60年音卒)

横田 純子 (S44年高卒)

事務局 竹下由美子 (S47年短卒)

今山里加子 (H10年短卒)



同窓会サポーター募集!

同窓会の活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。女学校、中高、短大、大学、大学院、看護大すべての卒業の方が対象です。1日だけでもOKです。バザーやホームカミングの際には「サポーター」の方々にご協力いただいています。ご自分に合った同窓会や学院へのサポートの方法があると思いますので、まずはご登録をお願いします。サポーターとしてご登録いただける方は、同窓会事務局までご登録ください。ご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ情報

中学校・高等学校、同窓会入学特別選考のお知らせ

同窓会会員のお子様、お孫様、姉妹様の入学希望者につきましては、入学時にかかる費用の一部を奨学金として給付する制度があります。詳細は同窓会事務局にお問い合わせ下さい。同窓会は皆様のご入学を心よりお待ちしております。

バザー報告

2018年のバザー

学院や同窓会のイベントの際
ミッショングッズの販売やバザーを行っています。

- 2018.3.1 高校卒業50年記念祝会
- 2018.5.17 同窓会総会(ソラリア西鉄ホテル)
- 2018.5.19 同窓会ホームカミング
- 2018.9.8 高校「女学院祭」
- 2018.9~11 各支部総会



出店者募集!

創立記念日(2019.5.18土曜日)にあなたの作品
を出品しませんか?

一部に女学院をイメージしたものを使用してください。(ぶどう、錨、制服の色等)

出店のご希望や詳しい内容のお問い合わせは同窓会事務局まで。
応募が多数の場合は役員会にて検討させていただきます。



応募締切 2019年2月末日

▼ ミッショングッズのお知らせ ▼

Mission Goods

Fukuoka Jo Gakuin Alumnae Association

同窓会では、総会、創立記念日等学院のイベント、各支部総会にてミッショングッズを販売しております。グッズについての詳細は同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

\ COME SOON! /
只今、新製品開発中
お楽しみにお待ち下さい

オリーブの会

2018年度、大学・短期大学の卒業式で着用するガウンの修繕を今回も同窓生の藤原京子(S43音卒)さんを中心として、お仕事会、サポーター、同総会役員のみなさんにご協力頂き、160枚のガウンが綺麗に仕上がりました。
心に残る卒業式になることを心よりお祈りしています。皆様、ありがとうございました。



オリーブの会
とは

ノアに平和と希望の知らせをもたらした鳩がくわえていたオリーブの葉。卒業式で着用される美しく整えられたガウンは、女学院を巣立っていく学生への同窓会から贈られる希望のプレゼント。学生課と同窓会役員とで一緒に考えて『オリーブの会』と名付けました。(正門前聖書ガーデンにオリーブが植えられています。どうぞご覧ください。)

看護大学開学10周年記念行事

10月6日(土)、台風が福岡に接近した日、福岡女学院看護大学開学10周年記念行事が看護大学講堂にて執り行われました。あいにくの空模様ではありましたが連携協定を結んでいる古賀市の関係者をはじめ多くの縁ある人達はその場に集いました。

開学に尽力され、9月3日、10周年の記念式典を楽しみにされながら神様のもとへ召されました名誉院長 徳永 徹先生の功績と開学までの苦難と開学に向けた熱い思いが語られました。

式典に続き、井部看護管理研究所 聖路加国際大学名誉教授 井部 俊子氏による「看護学教育における責務」記念講演が行われました。みなさん真剣な表情で講演に聞き入っていました。

講演終了後は、会場をカフェテリアに移して記念祝賀会が行われました。開学からの思い出のスライドショーの上映や第1期生から7期生までの卒業生も壇上にあがりそれぞれの近況報告が行われ卒業生の素晴らしい活躍を知る良い機会となりました。



福岡女学院看護大学 開学10周年を迎えて

福岡女学院看護大学 学長 片野 光男

10月6日の式典は大荒れの台風の中で催されました。十数年前、反対の少なくない中、新たな社会貢献を希求し果敢に看護大学新設へ舵を切られた徳永徹先生の思いが浸み渡るような一日でした。

式典を終え帰途に就く頃には皆さんの穏やかな顔と

もに青空が姿を見せていました。

今日に一日は、開学から10年の大学の歩みそのものだと思います。キリスト教の教えを背骨に学生・教職員が本看護大学新設の意義を互いに信じあい、希望し、愛し合い時と人を繋いで懸命に歩んできた先に見つけた青い空に違いありません。

今日、嵐の後に見た青空に感謝するとともに、目に見えないことを見、想い、大切にすることを身に付けた学生・教職員の集う看護大学として力強く美しく歩み続けてまいります。

2018年10月に開学10周年を迎えた看護大学。「社会貢献度全国看護大学トップ10」を目標に開学以来就職率100%を続けています。開学以来のその理念やモットーで育まれた学生たちは、どのように個性を伸ばし、卒業後はその学びを医療の現場でどのように活かしているのでしょうか

卒業生3人に集ってもらい、彼女らが大好きだった看護大学を振り返りながら、学生時代の思い出やこれからについて語ってもらいました。(一部抜粋)



1期生/上野 都花
2期生/小茂田 貴子、田平 優子



■看護大学で得たもの好きだったところを教えてください。

- 学生数200名。アットホームで全員が顔見知り。卒業してからも学年全体で集まるなど仲が良いところです。生徒だけでなく先生、事務の人とも仲良しです。
- 自宅を離れての一人暮らしで淋しかった時、学生5~6人にアドバイザーの先生が付きフォローしてもらえた。実家に帰るよりも学生生活が楽しいと思えるようになりました。
- 国家試験に向けて目標がひとつなのでより密な関係が築けました。さまざまな年齢の学生でしたが年齢を超えた絆が出来ました。そして、3人は声を揃えて「看護大学で一生の友達が出来ました!共通の話題があり、実習、現場はとても厳しく人よりたくさん泣きました。その苦勞が多い分仲間の絆は強く結ばれたと思います。」と話してくれました。

■看護大学、後輩たちに望むこと伝えたいことはありますか?

- 仲間を大事にして欲しいです。ここ看護大学で知り合った仲間は一生ものです。
- これからの医療の現場では英語も(他言語)必要になります。多言語医療支援コースなども活用して頑張ってください。
- 看護大学にも大学院が出来たらと思います。大学院で自分の学びたいことをより深く学びたいです。

■看護師の仕事をしていて思うことを教えてください

「いってらっしゃい」と送り出した人とまた次に会えるかはわかりません。明日が必ずあるとも限りません。静いや喧嘩しても仲直りして日々を過ごしてください。あなたの周りの人を大切にしてください。

とても朗らかで笑顔が素敵な3人の卒業生でした。大学での学び、看護師として働く現在、そして将来について忙しい時間を割いてインタビューに答えていただきました。これからの3人のますますのご活躍を応援しております。

音楽科卒業生会

卒音楽科卒業生会 水上 史子 さん (S60年音卒)

音楽科卒業生会は現在53回生を含め、約1200名の卒業生を輩出しています。昨年も春・秋の年2回の学年代表委員会を行い、春には寺園院長先生をお招きし様々な意見交換をする事が出来ました。

2018年7月8日(日)西鉄グランドホテルマンジャーマにて第21回総会・懇親会を開催しました。来賓として藤義幸中高校長、徳永徹名誉院長、新開泉歌音楽科主任、児玉敬先生、田中良明先生、桑原洋子同窓会副会長をお迎えし、卒業生出席者31名と共に懐かしく、楽しいあつという間の一時となりました。一昨年に続き昨年も8月4日(土)14時あいでふホールにて、卒業生会演奏会を開催しました。演奏家として羽ばたこうとしている6組の若者達による、素晴らしい演奏会となりました。

今回は2019年8月1日(木)に卒業生演奏会を予定しています。最後になりますが音楽科鈴木重弘先生、音楽科卒業生会をいつも支えて下さった徳永徹名誉院長先生、本当にありがとうございました。音楽科卒業生会はこれからも学院、音楽科の発展を応援していきたいと思ひます。



～ 思い出の向山寮 ～



2018年5月19日、創立133年記念行事当日に向山寮見学ツアーが行われました。

参加された、同窓生のほとんどが向山寮にかかわりのある方ばかりでした。楽しかった思い出や苦い経験など、学生の頃のご自分を思い浮かべながら楽しいひと時を過ごしていらっしゃいました。

1956年(S31)に建設された「向山寮」は昨年8月に取り壊され「心のふるさとがよみがえります」を合言葉にリニューアルされることになりました。

完成はもう少し先になりますが、福岡女学院らしい素敵な向山寮に生まれ変わることを思ひます。是非とも完成した向山寮を見ながらまた、昔の思い出を語り合っ頂ければと願っています。



お仕事会報告

25年の感謝を込めて

お仕事会は2018年5月17日の同窓会総会をもちまして、閉会致しました。

向山寮建設のために100万円の寄付をさせて頂きました。

今後も、長年ご協力下さった同窓生、学院関係の皆様、何らかの形でお役に立てたらと思ひています。25年間、本当にお世話になりました。



教養講座 **グレイプ・ガーデン**

報告
第24回

「私のスタンドグラスの仕事」

日時 2018年2月17日(土)
講師 後藤 ゆみこさん(S54年短卒)

WAVE-Gグラス工房代表として、九州を中心に幅広く活躍されているガラス工芸作家です。

第1部ではスライドを用いながら、建築用スタンドグラス窓などのこれまでの数々素晴らしい作品とともに作品に対する思いや苦労などユーモアを交えながらお話くださいました。

第2部のワークショップでは、アラマオイルオーナメントを作成。初めてのスタンドグラスにみんな悪戦苦闘しながらも、笑い声が溢れる楽しい時間で世界に一つだけの作品が出来上がりました。



報告
第25回

「生き物に帰ろう～植物を見つめて～
ガーデニング体験」

日時 2018年11月17日(土)
講師 山上 りえさん(S56年高卒)

教師から庭師へと異色の履歴を持つ「風香園」代表 山上りえ講師によるとても楽しいガーデニング講座でした。

第1部では、動物と植物の違いを教えてくださいました。ユーモアあふれるお話は、私たちが植物によって生かされている事を改めて気づかせていただく貴重な時間でした。

また、第2部のワークショップは5種類の花や樹木を使っての寄せ植え体験でした。土に触れ花を植える作業は簡単なようで難しかったのですが、完成してみればそれぞれに個性あふれる作品が出来上がりました。「性格が現れますね」とおっしゃる講師の言葉に、皆の笑顔が弾け心も体も癒された楽しい時間となりました。



予告
第26回

「素敵な暮らしを彩る
収納とインテリア」

講師 「studio」Q
中園 よし恵さん(S54年高卒)

日時 2019年11月16日(土)

講演及びワークショップ 13:30～15:00

会場 福岡女学院同窓会集会室



インテリア計画を通して、ご自分のお家を理想の空間に近づけましょう。収納のお悩みからスタイリングまで「インテリアノート」を使ったワークショップで快適な暮らしを手に入れるテクニックを学んでください。

お問い合わせ 詳しくは、福岡女学院同窓会事務局まで

ミッションサポートからのご案内

**Mission
革製ストラップ**
福岡女学院ロゴチャーム付き
700円(税込)

(株)ミッションサポートにて販売しています。同窓生の集いの記念品に、女学院生へのお土産に、是非ご利用くださいませ。

**ぶどうの
サンドケーキ**
1こ 130円(税込)

派遣登録のご案内

学校法人福岡女学院をはじめとする教育機関での事務業務やその他一般企業で働きませんか？

ミッションサポートのホームページにある「派遣登録申込フォーム」よりお申込みください。

随時
受付中

ミッションサポート 🔍 検索

対象者別メニュー → 卒業生 → 派遣登録

右のQRコードからもご覧いただけます。



派40-300721

お問い合わせ

〒811-1313福岡市南区日佐3-42-1 株式会社ミッションサポート
TEL : 092-575-2551 / FAX : 092-575-2580 / MAIL : ms@missionsupport.co.jp
営業時間 : 平日9:00～12:00・13:00～17:00 定休日 : 土日祝日 / 夏季 / 年末年始

25年目の同窓会

H5年高卒 古賀 真理子

5月19日創立記念日に卒業25年目の同窓会を開催いたしました。先生方、卒業生あわせて70名以上の参加をいただき、当初予定していた場所では手狭になり、場所を急遽変更したほどでした。柏村先生にお祈りをしていただき、会が始まりましたが、閉会までの3時間本当にあっという間でした。それぞれの近況や思い出を一人一人に話していただいたり、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

25年の歳月の中では、母校から足が遠のいた時期もありましたが、やはり「ぶどうの木」に繋がっているのだと感じることができたひとときでした。この同窓会の開催にあたり、ご協力いただいた藤校長先生をはじめお忙しい中お時間を作っていただきご参加いただきました先生方、準備にあたりご協力いただきました中高事務室の皆様、また準備から開催までの全てのサポートをしていただきました福岡女学院同窓会の皆様へ心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。



50年目の卒業式

S42年高卒 太田 美里

「卒業50年目の卒業式へのご招待。黄色のフリージアを胸に付け、63名で参列いたしました。パイプオルガンの演奏と共に卒業生が入場、式が始まりました。卒業証書授与の時、気付けば壇上に友の姿を探していました。50年の歳月を越えた不思議な感覚でした。

卒業生答辞はとも立派で、今の女学院の教育の素晴らしさを垣間見る思いでした。そして私達も愛ある教育と善き出会いの中で伸び伸びと育てられて今が在る事、女学院に通わせてくれた両親にも思いを巡らし感謝致しました。

その後の祝会では同窓会の心尽くしお弁当にお腹を満たされ、友との語らいに心を満たされ楽しいひと時を過ごしました。徳永先生、福島先生、藤校長先生のお話に笑い声が絶えず、まるで高校生に戻った様でした。

夕方からの学年同窓会には73名の出席者。心は18才。元気で賑やかな華やいだ集いとなりました。今は亡き友、今回出席出来なかった友へ思いを馳せながら、感動的な今日一日への感謝と再会を祈り、笑顔で散会致しました。この様な機会を戴いた事、又、同窓会役員の皆様の温かいおもてなし心から感謝申し上げます。



セーラー服展 報告

東京都文京区の「弥生美術館」にて、2018年3月29日から6月24日までセーラー服と女学生～イラストと服飾資料で解き明かす、その秘密～が開催されました。その中で日本最初のセーラー服と言われている福岡女学院の夏・冬制服が展示されました。また、100年前の女学生と記念撮影が出来るコーナーには、女学院生の等身大のパネルがおかれ美術館を訪れた人たちがパネルと一緒に記念撮影する姿がみられました。

会場では、セーラー服と女学生～100年ずっと愛された、その秘密～内田 静枝氏編著河出書房新書が紹介されており、その中でもセーラー服の歴史とともに福岡女学院が写真とともに紹介されています。



三世代のぶどう

メイポールダンスを4人で踊れることを楽しみにしています。

かなめ
仲谷 要さん
(中学2年)
勉強と部活動に
励んでいます。



まゆみ
安武 真弓さん
(S42高卒)
思い出の場所は講堂です。
入学式、卒業式等、柿菌ヤエ先生との
思い出が蘇って温かい気持ちになります。



なほ
仲谷 奈穂さん
(旧姓:安武)(H7高卒)
思い出の場所はたくさんありますが、
自宅から学校までの自転車で通学し
ていた道のが好きで、今でも
そこを通ると懐かしく心が癒
されます。



せつ
仲谷 攝ちゃん
(年長)
どんぐりやまで
たのしくあそんでいます。



2018年度国際理解教育推進基金 研修報告会

2018年9月21日(金)ギール記念講堂にて、タイグロバール研修、ニュージーランドFJ短期留学制度参加者による報告会が行われました。この基金は同窓会からの寄付により設立されました。

報告会に同窓会として臨席し、それぞれ海外での学びと経験を発表する後輩の姿に女学院生の更なる活躍を予感する良い機会となりました。

籾校長をはじめ、研修に参加した生徒、在校生達から同窓会会員のみなさんに感謝の言葉をいただいております。併せてご報告させていただきます。



遅くなりました…

S51高卒 還暦同窓会のご報告

2017年8月11日、高校を卒業してからなんと42年ぶりに、同窓生の集いを開催しました。

名古屋や東京からこの日のために帰福した方もおり、56名の懐かしい方々が、福岡市中央区の素敵なイタリアンレストラン『ドムスリストロ』に集いました。恩師の福島恭輔先生、緒方由子先生、中村幸孝先生を囲み、陽気なオーナーシェフと音楽科卒業のソプラノ歌手の馬場陽子さんとの即興の歌も飛び出し、和やかなひとときを過ごしました。

写真は福島先生が暑期中、2階のテラスから撮影してくださったものです。参加した一人ひとりに編集した写真をお送りいただきました。感謝申し上げます。



枝を張る葡萄たち

同窓会には現在10支部があります。
各支部で輝く卒業生を順次紹介して行きたいと思えます！
第1回は、2018年度関東支部総会で素敵な笑顔で大活躍の
H10年音楽科卒仲良し3人組にスポットをあてています。

三澤 志保さん
(H10年音卒)

女学院で過ごした3年間は私の青春そのものです。当時音楽科の授業ではオルガン演習がありました。通奏低音や、ペダルを使った演奏経験は、のちに息子を通じて通うことになった教会学校やキリスト教主義の幼稚園での礼拝の演奏で活かす機会と繋がりました。オルガンとピアノの奏法の違いを知っていたので迷わず弾くことができ、牧師先生からも褒めていただいたのを覚えています。このような事は女学院時代の経験がなければ得られなかったと嬉しかったのを覚えています。

音大を卒業してからは、指導の傍ら各国の音楽的な特徴をまとめ作曲家を紹介していくというコンサートを毎年開催し、回を重ねると自分たちの色が出来上がり、人に何を伝えたいかを明確にする勉強になったと思います。現在は子育てをしながら自宅で音楽教室を開き、目的や目標に合わせて、生徒さんに寄り添ったレッスンを心がけ日々学びながら過ごしております。

浅野 理さん
(H10年音卒)

若いセーラー服を着ていたあの頃と全く変わらず、白黒の鍵盤と楽譜に翻弄され、同じ仲間と他愛もない会話を繰り広げ日々過ごしています。が、いつしか住む場所が東京に変わり、セーラー服を脱いでから、20年が経過してしまいました。

たった三年の間に、時も場所も超越する、人生の宝物を育ててくれた福岡女学院での高校生活の素晴らしさに、今頃になって気付いた気がします。

あの頃一人で弾いていたピアノは、合唱の伴奏や室内楽等徐々に活動の幅は広がっています。

同窓生で結成された合唱団で一緒に歌うエネルギーを頂きながら、これからもメイポールダンスの輪の様に、女学院で得た宝物を大きくしていきたいと思っております。



高安 茜さん
(H10年音卒)

現在、フルート奏者大塚茜(旧姓)として、活動しております。ソロリサイタルをはじめ、数多くのアンサンブルコンサート、またCD制作も行なっております。

第4回ルーミア国際音楽コンクールにおいて、全部門グランプリを頂いたことをきっかけに、オーケストラとの共演もさせて頂き、来年5月にも、東京フィルハーモニー交響楽団との共演が決定しています。

女学院の音楽科での生活は、私にとって、技術や感性を養い、また素晴らしい友達と出会うことができた、かけがえない3年間でした。これまで、支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも日々精進して参りたいと思っております。

※このコーナーに登場して下さる卒業生を募集しています。各支部からの推薦をお待ちしております。

クリスマスツリー一点灯式

2018年11月15日(木)ピロティにて中高ハンドベル・MISSIONクワイアの讚美演奏が行われました。多くの人たちが見守る中、ツリーに灯りがとりました。皆様の中にもイエス様の愛の光がとりますように♡



2018年11月23日(金)、ギール記念講堂にて徳永 徹名誉院長の学院葬が執り行われました。同窓会会長を始め各支部からも多くの方が参列されました。



同窓会本部、全支部からのお花が献花されました

逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

(敬称略)

2018.1 疋田	雅子(大島)S15女	2018.3 鰐川	絹子(福永)S28高
2017.12.16 湯村	道子(黒田)S16女S17専	2016.8.24 西嶋	淳子(江藤)S29高
2018.9.18 森崎	敏子(塚本)S16女	2018.9.27 岡崎	須美子(松浦)S30高
2017.9.19 森岡	悦子(児玉)S17女	2018.2.2 本田	敬子(篠原)S31高
2018.5.9 林	澄(波多江)S17女	2018.9.25 瀬野	めぐみ(服部)S31高
2017.2.2 檜崎	邦代(山崎)S17女S18専	2017.2.11 市村	黎子(杉原)S35高
2018.2.1 尾崎	恵子(尾崎)S18女	2018.2.28 浅野	千恵子(刀根)S36高
2017.10.3 神部	美代子(筑山)S18女	2018.4.9 長門	幸子(長門)S37高
2017.7 石松	裕子(安川)S18女S19専	2018.8.7 辻村	留美子(山部)S39高S41短
不 明 矢田部	和子(矢田部)S20女	2016 西坂	ツヤ子(小宮)S41高
2018.5.1 阿久津	敬(池田)S20女	2016.7.28 野又	美知子(野又)S41短
2017.9.24 高田	陽子(広石)S21女	不 明 丸井	晶子(丸井)S42高S44短
2017.1.6 下川	洋子(山田)S23女	2017.10.26 舌間	万里子(江口)S43短
2018.4 島	晃子(井手口)S24女	2018.6.1 古川	佐保子(今吉)S44高
2018.6.3 村上	淳子(柿本)S24高S25専	不 明 山下	裕子(戸田)S46高
2018.7.2 荒谷	和子(和田)S25高	2016.4.28 藤原	翠(柴田)S47高
2017.9.10 山本	陽子(福守)S26専	2016.12 真木	真理(井上)S47短
2017.9.7 渡辺	千穂子(麻生)S27高	2017.12.4 須網	潔子(淡河)S50高S52短
2018.9.7 上野	蓉子(竹林)S27高	2018.8.20 田中	多恵(田中)S60高
2017.11 松下	洋子(御厨)S27高S28専1	2017.7.16 古賀	祐子(古賀)S63短
2017.10.8 若林	喜美子(飯沢)S28高	2017.2.26 松尾	祥代(松尾)H3短

※()旧姓です。※卒年順です。
2018.11.16現在



FUKUOKA JO GAKUIN

福岡女学院創立134周年記念コンサート



創立記念日
2019.5.18sat
13:30開場 14:00開演

入場無料

教育環境整備のための募金箱を設置させていただきます。ご協力をお願いいたします。

福岡女学院 ギール記念講堂
福岡市南区日佐3丁目42-1

演奏
福岡女学院高等学校音楽科

スペシャルゲスト
吉井美由紀 (ピアニスト)



1978年 福岡女学院高等学校音楽科卒業
東京芸術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラス修了後、同大学のパウル・マイゼン教授のクラス等で、続いて東京芸術大学に於て同じくP・マイゼン教授の許で伴奏助手を務める。現在、東京学芸大学非常勤講師。マリア・カラス国際コンクール奨励賞受賞。シュベルト国際コンクールファイナリスト。E・ヘフリガー氏、元ウィーンフィル首席トランペット奏者H・ガンシュ氏等と共演。バイエルン放送、NHK-FMに録音出演。ARTIS Piano Ensemble(8手連弾)のメンバー、ソロピアニストとして国内外で演奏活動を展開。杉山千賀子、堀江孝子、室井摩耶子、クラウス・シルデの諸氏に師事。

お問合せは 学校法人福岡女学院 広報・校友課 Tel.092-575-2949 Email gakuin-pr@fukujo.ac.jp

主催：学校法人福岡女学院

『こどもとおとなのミュージック・アカデミー』スタート

福岡女学院が幼児から大人までを対象とした音楽教室を始めることとなりました。名付けて「ミュージック・アカデミー」です。

ギール先生は音楽の素養が高く、先生のオルガンの演奏に合わせて、生徒達は讃美歌を歌ったと記されております。

そして現在まで学院は音楽をキリスト教育の中心に置き大切にしてきました。

現代において、音楽を学ぶ意味は何でしょう。演奏を通して自分の世界を創り、そして他の人の世界を知る。世界を見る一つの入り口になるのだと考えております。

講師は高校音楽科の卒業生を中心に編成しており、会場は幼稚園です。生徒を募集しておりますので是非お問い合わせください。お待ちしております。



ディレクター (教室長)
二田 真知子



レッスン内容

- ・ピアノ ・ヴァイオリン ・フルート
- ・チェロ ・リトミック ・声楽 他

運営・お問合せ



株式会社 ミッションサポート
(学校法人福岡女学院グループ)

〒811-1313 福岡市南区日佐 3-42-1
TEL : 092-575-2551 FAX : 092-575-2580
(営業時間：平日 9:00~12:00、13:00~17:00)
mail : music@missionsupport.co.jp

卒業50年の同窓生の卒業式招待

卒業50年を記念して、母校の卒業式にお招きします。今年は**S43年高卒**の方々です。どうぞお楽しみに。当日は式後、同窓会集会室にて軽食の準備をしております。

日時 **2019年3月1日 金**
10:00~

場所 **ギール記念講堂**



卒業25年同窓会のご案内

創立記念日に高校卒業後25年の同窓会開催を支援しています。今年**H6年高卒**の方々です。当日、お子様同伴も大歓迎です。お誘い合わせのうえ、お越しください。

日時 **2019年5月18日 土** *詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。



福岡女学院 創立134周年

同窓会 ホームカミング&バザー

2019年5月18日 土 10:00~15:00

懐かしい先生方やお友達と
楽しいティータイムを過ごしませんか?

メイポールダンス終了後、同窓会集会室にて
お茶とお菓子を準備してお待ちしています。
同窓生による手作りのバザーや
ミッショングッズも販売致します。

The 37th
Georg Friedrich Handel
Messiah

クリスマスコンサート「第37回 メサイア」

2019.12.20 (金) 開演/18:30

会場 **アクロス福岡(福岡市中央区天神)**

今年も「第37回 メサイア」を開催いたします。
久しぶりに皆さんと一緒にメサイアを歌いませんか?
参加者を大募集いたします。初めての方も大歓迎です。
皆様お誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願いいたします。

合唱団員募集

受付期間: **2019年7月1日~7月31日**
申し込み方法: はがき、電話、ファックス、Eメール
申し込み内容: 名前、住所、電話、声楽パート、卒業学校、
卒業年度、メサイア経験の有無
※これまでに参加された方も、毎年のお申込みをお願いします。

申込先
〒811-1313
福岡市南区日佐3丁目42-1 福岡女学院 総務課 宛
TEL: 092-581-1492 FAX: 092-575-2480
E-mail: messiah@fukujo.ac.jp

編集後記

ぶどうの一粒

あけましておめでとうございます。平成最後のお正月、皆様どのようにお過ごしでしょうか。誰もが学院に来た時、最初に出会う人は私たちを見守ってくださっている守衛さんです。朝、「おはよう」の元気な声、帰り「気をつけて帰ろうね」の温かい声。短い一言ですが毎日会う子どもたちの、体調や様子をいち早く気づいてくれます。気持ちよく一日を過ごすことができる縁の下の力持ち。ここにもぶどうの一粒を見つけました。

同総会役員は昨年5月から新体制になり、会長をはじめ役員、事務局の全員が10支部の皆さまにも支えて頂き、試行錯誤を繰り返しながら、それぞれの役割を果たそうと一生懸命に頑張っています。皆様には「ぶどう」24号発行にあたりご協力いただき有難うございました。次号に於きましても、取材やご寄稿等のご協力くださいますようお願い申し上げます。

(広報部:岩瀬由美/森奈都美)

皆さまの声をお聞かせください。ご意見、ご感想をお待ちしています。

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第24号 2019
福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1
TEL・FAX (092) 575-2479
【URL】 <http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/>
【E-mail】 alumnae@fukujo.ac.jp

福岡女学院 同窓会

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としましても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ (受付時間: 月~金 午前10:00~12:00 / 午後13:00~16:00)